

2023年 6月12日 作成

環境経営レポート



家族が笑顔で暮らせる家

EVER ON WARD [向上心] =エバーオンワード

Forward = 前へ! = 一歩ずつ絶えず前進 = Step By Step = 昨日より今日、今日より明日へ!!
より良き物を目指して、仕事に取り組む、着実に前をみて=向上心=に培われた仕事をする。
お客様の為に“オンリーワン”の住居づくりに取り組む会社です。



協和建設株式会社

代表取締役 小笠原 尊正

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績 ※総量の実績	P-4・5
5. 環境経営計画の取組と評価	P-6・7
6. 環境関連法規制の遵守	P-8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-8

1. 環境経営方針

全社重点環境経営方針

協和建設は、建設業の一員として良質な社会資本の形成を通じ、より豊かな生活を実現するために重要な役割と責任を担っている。建設業は、環境との関わりが深く、その事業活動の中で環境保全に取り組んでいくことは、企業としての責務でもある。

このような観点に立って、当社は、自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより、より良い環境の創造に努め、経済の発展と環境の保全とが持続的に共生する新しい社会の実現を目指す。

全社重点環境経営方針を実現するために、以下の具体的な方針を示す。

「自然環境の保全と汚染の予防と汚染の予防」

「環境法令・規制及びその他の要求の順守」

「資源・エネルギーの効率的利用」

- ・再生資源の利用
- ・二酸化炭素の削減
- ・産業廃棄物の削減
- ・水使用量の削減

「循環型経済社会の実現」

「環境マネジメントシステムの確立と継続的改善」

「本業に関する環境配慮活動」

2020年 4月 1日 改訂

2011年10月24日 発行

協和建設株式会社
代表取締役 小笠原 尊正

2. 事業活動の規模

弊社に於ける6期(2022/4/1～2023/3/31)の環境負荷実績を把握し、8期～10期迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

協和建設株式会社
代表取締役 小笠原 尊正

2. 所在地

〒373-0851 群馬県太田市飯田町1242-2

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 小笠原 尊正
環境管理責任者 : 取締役土木部長 梶谷 学
担当 : EA21事務局 梶谷 学
TEL : 0276-46-2921
FAX : 0276-48-0153

4. 対象範囲

協和建設株式会社 全組織・全活動

5. レポートの対象期間

2022年度の1年間の活動。

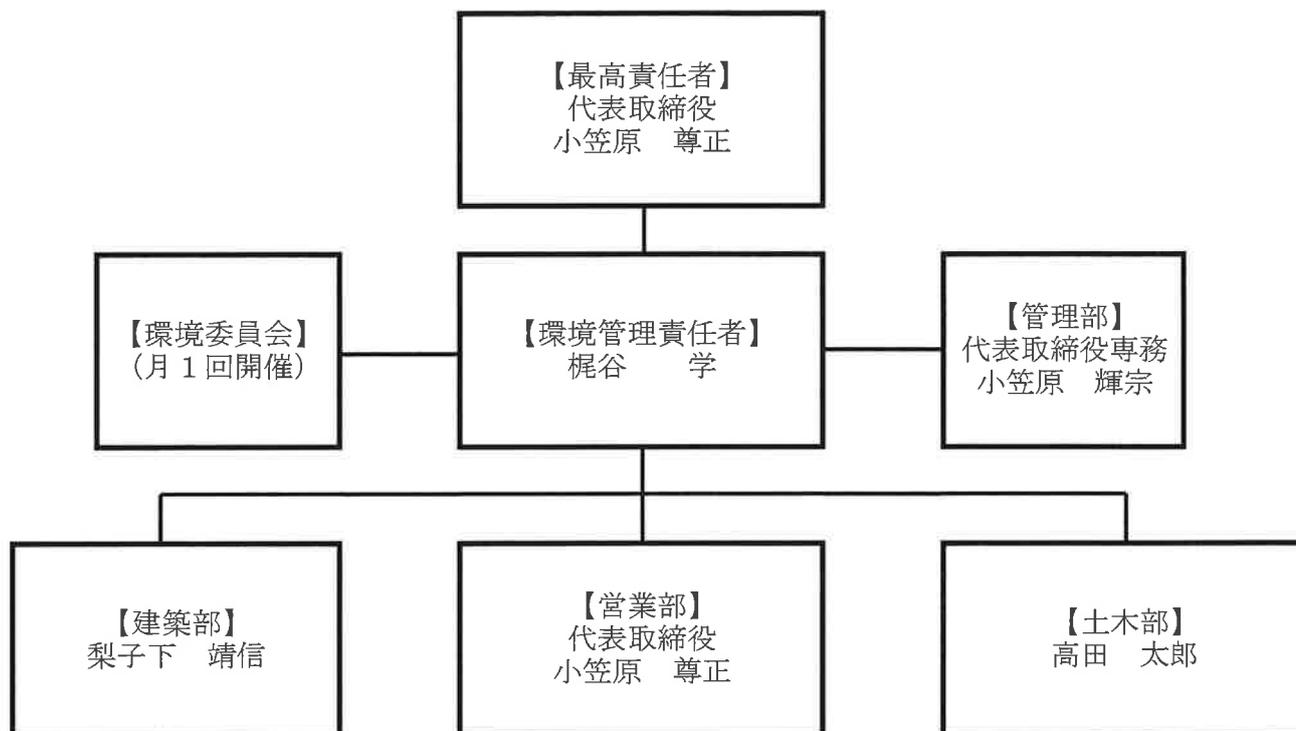
6. 事業の内容

総合建設業

7. 事業規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
完成工事高	千円	753,053	884,366	882,345
従業員数	人	17	17	17
延べ床面積	m ²	277.11	277.11	277.11

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 小笠原 尊正】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【梶谷 学】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
管理部	<p>【代表取締役専務 小笠原 輝宗】</p> <p>①管理部として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

4. 環境経営目標とその実績

弊社に於ける8期(2022/4/1～2023/3/31)の環境負荷実績を把握し、8期～10期迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 主要な環境経営目標と環境負荷・実績

環境経営目標	基準値	今年度目標		中長期の目標			環境経営計画 実施事項
	2021年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	目標	実績	目標	目標	目標	
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg/百万円)	58.409	2021年度に対して2%削減(57.241)	63.678 (9.020%)	2021年度実績に対して3%削減	2021年度実績に対して4%削減	2021年度実績に対して5%削減	①空調温度適正化・表示:◎ ②照明不要時のOFFの推進:◎ ③エアコン清掃の実施:◎ ④エアコンの適温化:◎ ⑤アイドリングストップ:◎ ⑥エコドライブ推進:◎ ⑦社用車の点検・整備:◎
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(t/百万円)	1.608	2021年度に対して2%削減(1.576)	0.238 (-85.184%)	2021年度実績に対して3%削減	2021年度実績に対して4%削減	2021年度実績に対して5%削減	①分別ルールの徹底:◎ ②廃棄物置場の整備:◎ ③産廃業者との契約書の確認:◎ ④裏紙使用ルールの徹底:◎
③従業員1人当たりの水資源投入量の削減(m ³)	4.000	2021年度に対して2%削減(3.920)	2.056 (-46.611%)	2021年度実績に対して3%削減	2021年度実績に対して4%削減	2021年度実績に対して5%削減	①毎月のメータの確認(漏水防止):◎ ②節水表示(手洗い場・トイレ):◎ ③トイレの節水:◎ ④節水を心掛ける:◎
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	SDS(セーフティデータシート)を取寄せ保管する。	実施済	最新版を取寄せ保管する。	最新版を取寄せ保管する。	最新版を取寄せ保管する。	①現場毎に常に最新版のSDS(セーフティデータシート)を取寄せ保管し使用する。
⑤本業に関する環境配慮活動	—	再生材を使用する。	実施済	リサイクル材を使用する。	リサイクル材を使用する。	リサイクル材を使用する。	①砕石材、アスファルト合材等は再生材を使用する。 ②リサイクル材を使用する。

*購入電力の排出係数は、0.434 kg-CO₂/kW [2023年度実績・令和5年5月26日(一部修正)公表]を使用しています。

数値目標：達成 ○、未達成×

活動計画：良く出来た ◎、概ね出来た ○、余り出来なかった △、全く出来なかった ×

※総量の実績

環境への負荷	2020年度		2021年度		2022年度	
	数値	単位	数値	単位	数値	単位
①温室効果ガス排出量	50,491.710	kg-CO2	57,646.160	kg-CO2	62,553.350	kg-CO2
②廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	1,253.182	t	1,562.676	t	234.000	t
③総排水量(水使用量)	37.000	m ³	68.000	m ³	37.000	m ³
④エネルギー使用量 (購入電力・化石燃料)	876,825.370	MJ	791,278.740	MJ	1,005,022.100	MJ

5. 環境経営計画の取組みと評価

弊社に於ける6期(2021/4/1~2022/3/31)の環境負荷実績を把握し、8期~10期迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 主要な環境経営目標と環境負荷・実績

環境経営計画・達成状況	環境経営計画の取組み結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 『目標』 前期に対し、2%削減 目標の達成状況：9.101%減 ×	・電力使用量の目標値は、大幅に達成出来た。要因としては、窓を開け空気を室内に取り入れ、エアコンの使用頻度を少なくした事と考えられる。 ・ガソリン使用量は、達成出来なかった。要因としては、工事の受注が増えて各々担当者の長距離での移動が多くなったと考えられる。 ・軽油使用量は、達成出来なかった。要因としては、工事の受注が増えて各々担当者の長距離での移動が多くなったと事と現場での使用が多かったと考えられる。
	次年次への取組内容
2. 廃棄物排出量の削減 『目標』 前期に対し、2%削減 目標の達成状況：-85.184%減 ○	・目標値は大幅に達成出来なかった。要因としては、工事の受注が増えたものの各々の廃棄物排出量が少なかったと考えられる。
	次年次への取組内容
3. 水資源投入量の削減 『目標』 前期に対し、2%削減 目標の達成状況：-46.611%減 ○	・目標値は達成出来た。要因としては、社員が増えたが事務所で水の使用と受注が増えてにも関わらず現場で使用する水の使用量が少なかったと考えられる。
	次年次への取組内容
	・次年度の水の使用量はさほど変わらないと考えられる。また、現場での使用量は工事受注により増減するので、更なる無駄な水の使用(節水)に心掛けて活動を行い削減に努力する必要がある。

数値目標：達成 ○ 未達成 ×

*2022年度(2022年4月～2023年3月)の1年間の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画・達成状況	環境経営計画の取組み結果の評価
<p>4. 化学物質取扱い及び管理の徹底 『目標』 環境経営目標に合わせて行う。 目標の達成状況： ○</p>	<p>・建築で使用する場合の化学物質の取扱い及び管理の使用については今期は無かった。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">次年次への取組内容</p> <p>・現場毎の環境経営目標管理を徹底する。 (最新の化学物質の取扱い及び管理の使用)</p>
<p>5. 本業に関する環境配慮活動の徹底 『目標』 環境経営目標に合わせて行う。 ①建設廃棄物の分別・解体を適切に行う。 ②建設廃棄物の再資源化を適切に行う。 ③環境配慮建設機器の利用を行う。 目標の達成状況： ○</p>	<p>・各建設現場で発生する建設廃棄物の取扱い及び管理は現場毎に徹底をしている。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">次年次への取組内容</p> <p>・現場毎の環境経営目標管理を徹底する。 (建設廃棄物の取扱い及び管理)</p>

数値目標：達成 ○ 未達成 ×

6. 環境関連法規制の遵守

1. 弊社に於ける6期(2021/4/1~2022/3/31)の環境負荷実績を把握し、7期~9期迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物廃棄物	委託契約書管理、保管基準	遵法
建設リサイクル法	分別解体、特定建設資材廃棄物再資源化	遵法
騒音規制法	特定建設作業、規制基準	遵法
振動規正法	特定建設作業、規制基準	遵法
悪臭防止法	特定建設作業、規制基準	遵法
消防法	消火器の設置、点検	遵法
道路交通法	道路交通法	遵法
自動車リサイクル法	再生資源化預託金、使用済自動車の引渡し	遵法
太田市土砂等による埋立て等の規制に関する条例	許可申請届出書	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年6月26日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表による全体評価と見直し結果

代表者による全体評価と見直しの結果

・取組を始めてからの評価

今期は前年度より工事受注高が134件と多いにも関わらず、年間の今期の工事出来高は前年度とほぼ横ばいであった。各々の削減が達成出来た物と出来なかった物がありますが、環境負荷の取組みが定着し、社員一人一人が環境活動に配慮した事業活動を行う事により、環境負荷の削減に繋がったと考えると考えられる。また、環境負荷の低減目標を達成する為に、ある程度明確な目標値を設定して少しでも低減出来るよう更なる環境負荷の取組みに努めて行きたい。

・取組の成果と今後の取組について

年間の環境活動目標は達成出来た物と出来なかった物があつたが、社員一人一人が環境活動目標の実績で、細別に評価した時に更なる環境負荷目標を達成する為に、年間の工事受注高、工事出来高もその都度違い、環境負荷の取組みが定着している中で、評価の目標達成に辺りどんな工夫をすれば少しでも環境負荷を低減出来るか全社員で再度検討して、環境活動に配慮した環境負荷の低減を推進すると共に意識が向上しつつ、更なる目標達成に向けより良い環境の創造に努め、経済の発展と環境の保全とが持続的に共生する社会の実現を目指して、社員一丸となって積極的に更なる環境活動に努めて行きたいと思えます。